個数を 逆に 求める・式の 意味 ドリル③

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中1／ドリル 項目8 ③（逆向き）／目標 12分

・「規則性と式」の 問題。 大問1は、個数を 四角に 書く。
・大問2は、□①と □②に あてはまる 数を、それぞれの 四角に 書く。
・大問3は、正しい ものを ○で かこむ（1つ だけ）。

大問1 全部の 本数（碁石の 数）から 個数を 求める

(1) マッチ棒 36本で、正六角形を となり合う 1辺を 共有して 横一列に つくる

□ 個

(2) マッチ棒 37本で、小さな 正方形を 縦に 2個・横に いくつか すきまなく ならべて 長方形を つくる

□ 個

(3) 碁石 30個を ぜんぶ 使って、正六角形の まわりに 1辺に 同じ 数ずつ ならべる

□ 個

(4) マッチ棒 29本で、正八角形を となり合う 1辺を 共有して 横一列に つくる

□ 個

大問2 □に あてはまる 数

(1) マッチ棒で 正六角形を、となり合う 1辺を 共有して 横一列に x個 つくる

本数 ＝ □①＋□②(x−1)

□① □ □② □

(2) マッチ棒で 正八角形を、となり合う 1辺を 共有して 横一列に x個 つくる

本数 ＝ □①＋□②(x−1)

□① □ □② □

(3) 碁石を 正七角形の まわりに、1辺に n個 ずつ ならべる（nは2以上）

碁石の 数 ＝ 7n−□

□

(4) 碁石を 正五角形の まわりに、1辺に n個 ずつ ならべる（nは2以上）

碁石の 数 ＝ 5n−□

□

大問3 式の 中の 数の 意味

(1) 碁石を 正六角形の まわりに、1辺に n個 ずつ ならべる（nは2以上）

碁石の 数 ＝ 6n−6 の「−6」は

- 1辺の かどを のぞいた 碁石の 数
- 1辺の 碁石から かど 1個を のぞいた 数
- 2回 数えて しまう かどの 碁石の 数

(2) 碁石を 正七角形の まわりに、1辺に n個 ずつ ならべる（nは2以上）

碁石の 数 ＝ 7(n−1) の「n−1」は

- 1辺の 碁石から かど 1個を のぞいた 数
- 1辺の かどを のぞいた 碁石の 数
- 1辺に ならぶ 碁石の 数

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「文字と式」のプリント一覧がひらきます

個数を 逆に 求める・式の 意味 ドリル③【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中1／ドリル 項目8 ③（逆向き）／目標 12分

大問1 全部の 本数（碁石の 数）から 個数を 求める

(1) マッチ棒 36本で、正六角形を となり合う 1辺を 共有して 横一列に つくる

7 個

(2) マッチ棒 37本で、小さな 正方形を 縦に 2個・横に いくつか すきまなく ならべて 長方形を つくる

7 個

(3) 碁石 30個を ぜんぶ 使って、正六角形の まわりに 1辺に 同じ 数ずつ ならべる

6 個

(4) マッチ棒 29本で、正八角形を となり合う 1辺を 共有して 横一列に つくる

4 個

大問2 □に あてはまる 数

(1) マッチ棒で 正六角形を、となり合う 1辺を 共有して 横一列に x個 つくる

本数 ＝ □①＋□②(x−1)

□① 6 □② 5

(2) マッチ棒で 正八角形を、となり合う 1辺を 共有して 横一列に x個 つくる

本数 ＝ □①＋□②(x−1)

□① 8 □② 7

(3) 碁石を 正七角形の まわりに、1辺に n個 ずつ ならべる（nは2以上）

碁石の 数 ＝ 7n−□

7

(4) 碁石を 正五角形の まわりに、1辺に n個 ずつ ならべる（nは2以上）

碁石の 数 ＝ 5n−□

5

大問3 式の 中の 数の 意味

(1) 碁石を 正六角形の まわりに、1辺に n個 ずつ ならべる（nは2以上）

碁石の 数 ＝ 6n−6 の「−6」は

- 1辺の かどを のぞいた 碁石の 数
- 1辺の 碁石から かど 1個を のぞいた 数
- **2回 数えて しまう かどの 碁石の 数**

(2) 碁石を 正七角形の まわりに、1辺に n個 ずつ ならべる（nは2以上）

碁石の 数 ＝ 7(n−1) の「n−1」は

- **1辺の 碁石から かど 1個を のぞいた 数**
- 1辺の かどを のぞいた 碁石の 数
- 1辺に ならぶ 碁石の 数

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) 7 (2) 7 (3) 6 (4) 4。(1) (36−6)÷5＋1 ＝ 7 (2) (37−2)÷5 ＝ 7 (3) (30＋6)÷6 ＝ 6 (4) (29−8)÷7＋1 ＝ 4（式を 作らなくても、1個目と ふえる 本数から 順に たどれば 求められる）。

大問2 (1) は 1個目 6本・ふえる 5本。(2) は 1個目 8本・ふえる 7本。(3) は 7、(4) は 5（どちらも かどの 数）。

大問3 (1) の 正解は「2回 数えて しまう かどの 碁石の 数」、(2) の 正解は「1辺の 碁石から かど 1個を のぞいた 数」。「かどを のぞいた 碁石の 数」は n−2、「かど 1個を のぞいた 数」は n−1（かどは 両はしの 2個）。